

11 nimmt!

人数: 2-7人
年齢: 8才から
時間: 約 30分

セット内容



数字カード / 1から100まで各1枚、計100枚、ブルカード / 10枚

ゲームの概略

手持ちカード10枚で始め、自分の順番が回ってきたらそのカードから1枚を場札に出します。その際、その場札の一番上の数字より大きく、「差が10以内」の数字カードしか出すことはできません。もし差が11以上のカードしかない場合は、「イレブンニムト (11番が取る)」を意味し、場札の山を引き取り自分の手持ちカードに加えなければなりません。場札の山が3枚以上の場合は、ブルカード1枚を獲得することが出来ます。ブルカードを持っていれば、複数枚カードを出すことができます。誰かが手持ちカードを全て出し終えた時点でゲーム終了です。

ゲームの準備

- 数字カードを裏向きでよく混ぜ、各プレイヤーに **10枚ずつ**配ります。各プレイヤーは配られたカードを小さい数字から順番に並び替えます。残りの数字カードを机の中央に置き、**山札 (プレイヤーがカードを引いていく山)**を作ります。
- 山札から一番上のカードを1枚めくり、表向きでその横に置きます。この数字カードが最初の**場札 (プレイヤーがカードを出していく山)**となります。
- また、ブルカードは数字カードの山札と違う場所に置きます。このブルカードは必要な時に使用します。
- 最年少のプレイヤーから始めます。

最初に下記のようにカードを並べます。



ブルカードの山 山札 最初の場札カード

遊び方

時計回りにスタートします。順番が回ってくると下記のどちらかを行います。

- 手札の**数字カードを1枚**、場札に出す。
- どれか1つ、**場札の山のカード全て**を引き取り自分の手札に加える。

数字カードを出す

数字カードを出す場合は3つのルールがあります：

- ルール1 - 大きな数字**
場札の一番上の数字より大きな数字カードのみです。
- ルール2 - 差が10以内**
場札の一番上の数字との「差が10以内」のカードのみです。もし差が11以上のカードしかない場合は、場札の山を引き取り自分の手札に加えなければなりません。
- ルール3 - 100の次は1、2、3というように1に戻ります。**
場札の一番上の数字が96の場合は97から100と1から6の数字カードを出すことが出来ます。

例：場札は98です。プレイヤーは5を出しました。その差は7 (99、100、1、2、3、4、5) なので、出すことが出来ます。

場札の山を引き取る

上の3つのルールに当てはまる数字カードを持っていない場合はどれか1つの場札の山を引き取らなければなりません。また、戦略として引き取ることも出来ます。

場札の山を引き取る度に、**山札から2枚めくり**新しい場札としてそれぞれを山札の横に置きます。すなわち場札が増えていくことになります。

スタート時点では、場札は1つしかありませんが、ゲームを進めていくと場札の山が増えていくので、選ぶことが出来るようになります。

注意：場札の山を選ぶとき、それぞれの山にどんなカードや何枚あるかを確認することは出来ません。

引き取った数字カードを手札に加え、小さい数字から順番に並べ替えます。その後次のプレイヤーの順番になります。

重要：引き取った場札の山が**3枚以上の場合は**、ブルカードを1枚獲得することが出来、自分の前に置きます。ブルカードは複数枚獲得することが出来ます。



場のブルカードが無くなると、次からは一番多くブルカードを持っているプレイヤーから1枚取ることが出来ます。そのプレイヤーが複数の場合は、誰から取るかを選ぶことが出来ます。

ブルカード

ブルカードを持っているプレイヤーは、1つの場札に**一度に複数枚**、手札を出すことが出来ます。

- 複数枚の場合でも必ず場札の数字との「**差が10以内**」でなければなりません。
例：場札の数字が33です。ブルカードを持っているプレイヤーは、手札の中から、34から43のカード全てを一度に出すことが出来ます。
- 複数枚のカードを出す時は、それらのカード全てが「差が10以内」であることが他のプレイヤーにわかるように場札の横に置きます。そして、一番大きい数字が上になるように小さい数字から順番に出していきます。

ブルカードを**2枚持っている場合は**、**2つの場札の山**それぞれに複数枚出すことが出来ます。**3枚の場合は3つの場札の山**、というようにブルカードの枚数と同数の場札の山に出すことが出来ます。

遊び方の例

注意：カードを出す時は、下記の例のように、場札の上に重ねていきます。四方八方に広げられてはいけません。

最初に札山と31の場札カードがあります。



札山

場札カード

1番目のプレイヤーは31の場札の上に32から41のカードを出すことが出来るので、36を出しました。2番目のプレイヤーは37から46のカードを出すことが出来るので、46を出しました。



札山

場札カード

3番目のプレイヤーは47から56のカードを持っていなかったで、場札の山のカードを全て手札に加えました。そして、ブルカード1枚を獲得し自分の正面に置きました。

その後、札山から2枚めくり横に並べました。場札は23と87になりました。



札山

場札カード

場札カード

次からのプレイヤーは順番に87の場札に88、92、98、5のカードを出していき

ました。あるプレイヤーはどちらの場札にも出すことが出来る「差が10以内」のカードを持っていなかったで、どちらか1つの場札の山全てを引き取らなければなりません。

そのプレイヤーは23の場札を選びました。(23の場札の枚数は1枚のみです。)合計枚数が3枚以上ではないのでブルカードを獲得することは出来ません。



札山

場札カード

場札カード

2枚の新しいカードをめくりました。19と78です。次からのプレイヤーは3つの場札から選ぶことが出来るようになりました。



札山

場札カード

場札カード

場札カード

ゲームの終了

1人のプレイヤーが手札全てを出し終えた時点で、そのラウンドが終了します。他のプレイヤーは、手札に描かれているウシのマークを数えます。その合計がマイナスポイントになります。

例：数字カードには3つのウシのマークが描かれているので、マイナス3ポイントになります。



それぞれのマイナスポイントを記録し、次のラウンドを始めます。最もマイナスポイントの多いプレイヤーから始めます。プレイヤーの人数と同じラウンド数を行います(3人の場合は3ラウンド)。全てのラウンドが終わった時点で合計のマイナスポイントが一番少ないプレイヤーの勝ちです。